

平野中だより

令和6年6月5日

〈学校教育目標〉 ともに学び 挑み 夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ!～

蓮田市立平野中学校 TEL048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



「点滴穿石」～小さな努力を積み重ね、大きな夢を叶えよう～

校長

6月1日の体育祭では、たいへん多くの御来賓や保護者の方々にお越しいただき、生徒の活躍をご覧いただくことができました。ありがとうございます。生徒たちが体育祭に向けて練習を重ねて自分たちを高めていく姿は、まさに「かがやきサイクル」の実践でした。これからも、様々な活動を通じた成長がとても楽しみです。



さて、タイトルの「点滴穿石」は、今年度の生徒会活動方針です。この四字熟語は、小さな水滴でも長く落ち続ければ石に穴を開けられるということから転じて、「小さな努力の積み重ねによって、大きな仕事が成し遂げられる。」ということの意味します。ぜひ、一日一日の限られた時間を大切にし、いずれ「大きな夢」を叶えてほしいと思います。

そこで今回は、努力を積み重ねて大きな夢を叶えた人物を紹介します。日本人初(アジア人初)女性宇宙飛行士「向井千秋」さんです。向井さんは、群馬県館林市出身。子供の頃から好奇心旺盛な努力家で、勉強にも運動にも全力で取り組んでいました。そして、慶応義塾大学医学部へ進学し、外科医になるという夢を叶えました。

大学時代はスキー部の練習にも励み、東日本医学部スキー大会の回転競技で優勝するほどの実力だったそうです。

心臓外科医として活躍しながら、宇宙や宇宙医学にも興味をもっていた向井さんは、「宇宙から地球を見てみたい」という思いから、宇宙飛行士の試験に応募しました。すると、見事合格。1985年宇宙飛行士に選出されました。当時はまだ、今ほど日本人が世界で活躍しておらず、男女雇用機会均等法も施行される前だったこともあり、向井さんの周りには、日本人だから…女性だから…と言って夢を諦めている人が多かったそうです。しかし向井さんは、「夢に制約はない。夢があるならその夢を追うんだ。」という思いでチャレンジしたのだそうです。それは、多くの人々に希望と勇気を与えました。また、「やりたいことに何でも挑戦し、夢を実現するためには日々の学習が大切だ」とも言っています。やはり「点滴穿石」・・・コツコツ努力が大事なのですね!



向井千秋さん(JAXA:HPより)

向井千秋さんと私(校長)の意外?な関係…

「千秋ちゃんが宇宙飛行士の試験に受かったって!!」

それは、1985年のある日、私が10歳の時でした。テレビのニュースを見ていた母親が、私が入っていたお風呂のドアを突然開けて、興奮した様子でそう伝えにきました。

母が「千秋ちゃん」と呼んでいたのは、母の従姉(いとこ)の子供で、向井(当時は内藤)千秋さんのこと。つまり、向井さんと私は「はとこ」という親戚関係になります。

子供のころから「宇宙飛行士」という“すごい人”が親族にいたことは、私がいろいろなことにチャレンジするモチベーションになりました。何事も、「自分にもできる」と信じて全力で取り組んできたことは、今でも何一つ無駄になっていないと思っています。

